

2018年3月期 第2四半期決算説明資料

2017年10月13日



GENDAI AGENCY Inc.

ゲンダイエージェンシー株式会社

P3 第2四半期 損益計算書(連結)

P4 事業の種類別セグメント

【広告事業】

P5 第2四半期 損益計算書

P6 四半期売上高の推移

P7 品目別売上高の推移

P8 顧客の状況

P9 従業員の状況

【不動産事業】

P10 第2四半期 損益計算書

P11 第2四半期 連結貸借対照表

P12 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

P13 2018年3月期 連結業績予想の修正に関して

P14-17 各種サービスの進捗について

第2四半期 損益計算書(連結)

(単位：百万円)

	当2Q累計期間	構成比	前2Q累計期間	構成比	前年同期比
売上高	6,878	100.0%	8,056	100.0%	85.4%
営業利益	430	6.3%	628	7.8%	68.5%
経常利益	449	6.5%	594	7.4%	75.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	312	4.5%	397	4.9%	78.6%

○ パチンコホール業界は、引き続き収益面で厳しい状況が続いています。昨今の依存症対策や射幸性抑制を目的とした業界規制の強化の流れを受け、新規出店や新遊技機の積極購入といった投資意欲は、過去と比較しても著しく減退しつつあることがうかがえます

○ 当社グループでは主力の広告事業において、収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアの拡販や、異業種向けのプリンティング事業の営業強化により収益の底上げに努めました。また、併行して収益性改善のための固定費抑制にも取り組んで参りました

○ 結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,878百万円(前年同期比14.6%減)、営業利益は430百万円(同31.5%減)、経常利益は449百万円(同24.4%減)、親会社に帰属する四半期純利益は312百万円(同21.4%減)となりました

事業の種類別セグメント

□当第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	6,803	36	38	—	6,878
セグメント利益	638	17	▲45	▲179	430

□前年同期比

(単位：百万円)

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	連結
売上高	▲1,140	▲36	▲1	—	▲1,178
セグメント利益	▲136	▲17	▲38	▲4	▲197

○ パチンコホール広告が前年同期を大幅に下回ったことにより、連結ベースの売上高で1,178百万円減となり、固定費の削減を進めたものの、セグメント利益は197百万円減となりました

第2四半期 損益計算書(広告事業)

(単位：百万円)

広告事業	当2Q累計期間	前2Q累計期間	前年同期比
売上高	6,803	7,943	85.6%
営業費用	6,165	7,168	86.0%
セグメント利益	638	775	82.3%

外部環境>

- パチンコホール広告市場は、パチンコホール企業における収益性の悪化を要因とする広告費の削減が継続
- 新台入替の頻度減少による告知需要の減少もあり、広告需要は著しく低迷する状況

当社の取り組み>

- 自社メディアである「パチ7」やDSP広告「パチアド」を中心としたインターネットメディアの拡販
- 異業種向けプリンティング事業の営業強化を推進
- 受注プロセスの見直しによる合理化・省力化を進め、固定費の抑制に注力

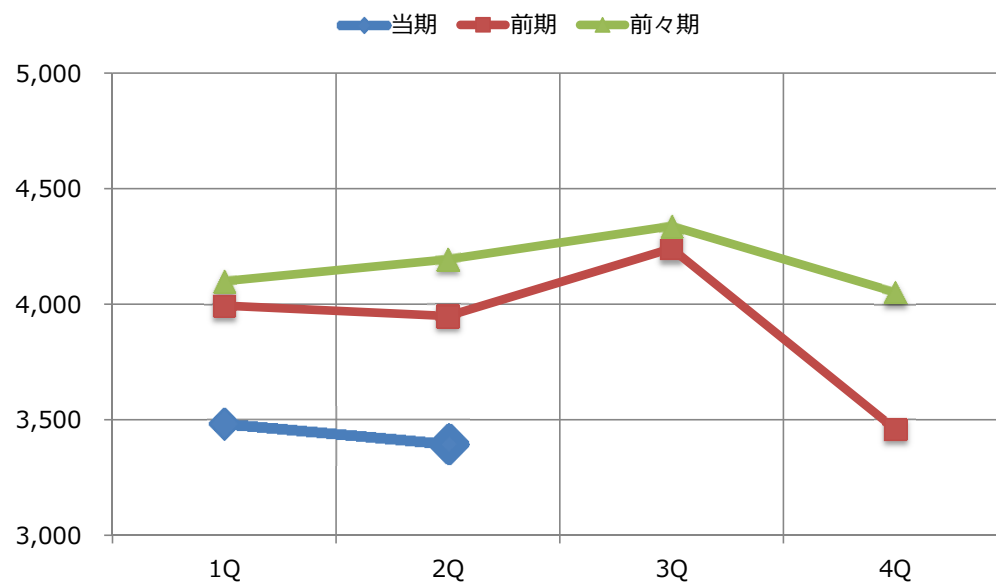
結果>

- 当社の取り組みは一定の効果あげたものの、急激な需要の減少の影響を相殺するには至らず、売上高は6,803百万円(前年同期比14.4%減)、セグメント利益は638百万円(同17.7%減)となりました

四半期売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計
当期	3,482	3,396	—	—	6,878
前期	3,994	3,949	4,241	3,459	15,643
前々期	4,100	4,194	4,338	4,052	16,684



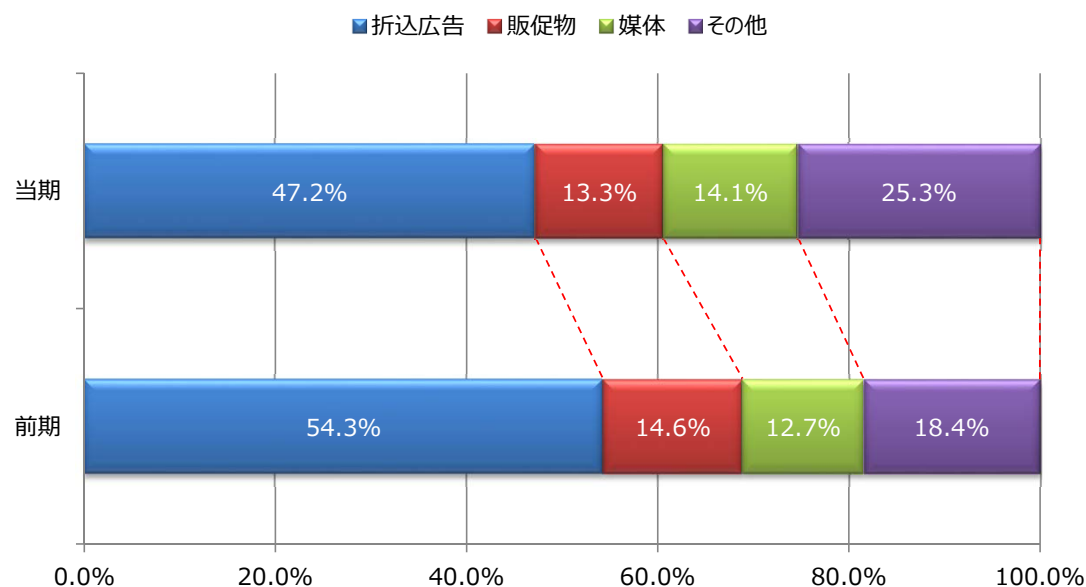
○当2Qにおける広告事業の売上高は前年同期比で、553百万円減少しました

○新台入替の頻度減少による広告需要の減少や、広告予算の削減、また、例年と比較しても、新規出店等による大型の告知需要が極端に減少したこと等が影響しました

品目別売上高の推移(広告事業)

(単位：百万円)

	当2Q累計期間	構成比	前2Q累計期間	構成比	前年同期比
折込広告	3,213	47.2%	4,313	54.3%	74.5%
販促物	908	13.3%	1,161	14.6%	78.2%
媒体	960	14.1%	1,005	12.7%	95.5%
その他	1,721	25.3%	1,462	18.4%	117.7%
	6,803	100.0%	7,943	100.0%	85.6%



○ 主として入替告知需要の減少により、パチンコ広告事業の主力メディアである「折込広告」が、前年同期比で25.5%と大幅に減少した結果、構成比も7.1ポイント低下しました

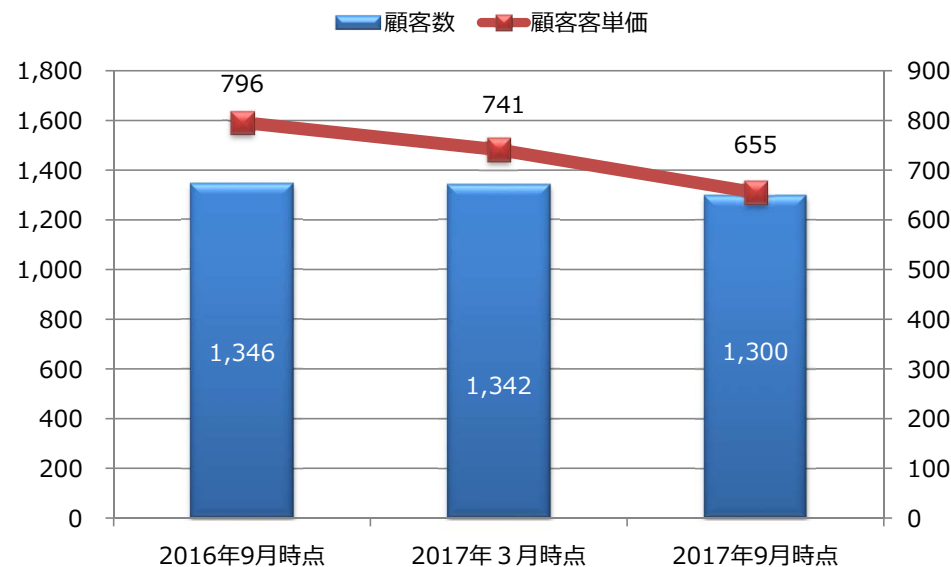
○ 「その他」については、自社サービスである「パチ7」「パチアド」等インターネット広告の拡販により、売上高・構成比ともに増加しました

顧客の状況(広告事業)

○ 広告費の削減や新台入替の頻度が減少したことによる告知需要の減少を受け、顧客単価は前期末より86千円減少しました。また、顧客単価の落込みにより、集計対象外の顧客数が増加した結果、表記の顧客数は減少しました。

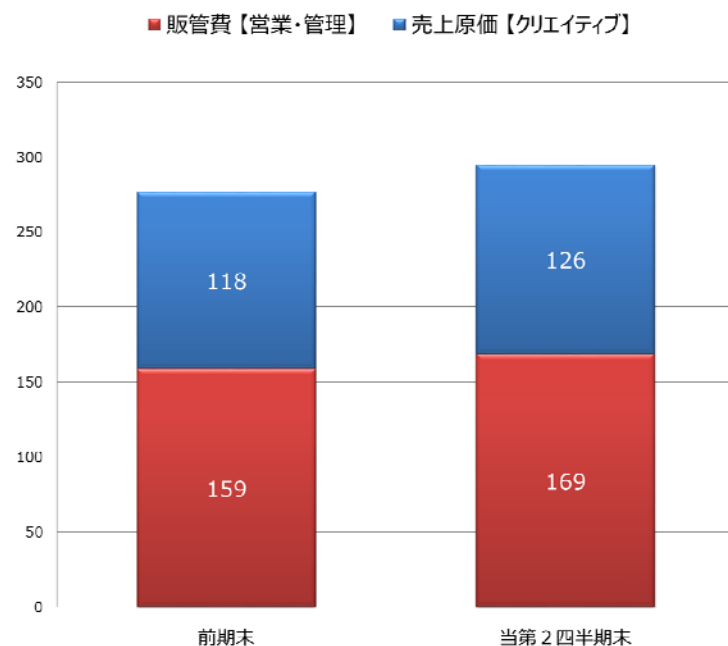
稼働顧客	2016年9月時点	2017年3月時点	2017年9月時点
顧客数(件) ※1	1,346	1,342	1,300
顧客客単価(千円) ※2	796	741	655

※1：月額取引50千円以上の取引先を対象としています ※2：数値は単月実績となります



従業員の状況(広告事業)

	前期末	当第2四半期末
販管費【営業・管理】	159	169
売上原価【クリエイティブ】	118	126
広告事業計	277	295



○ 営業・管理:インターネット広告部門、及び求人広告部門の増強

○ クリエイティブ:連結子会社において、非正規雇用の社員を正社員登用

○ 結果、前期末と比較して18名増加となりました

第2四半期 損益計算書(不動産事業)

(単位：百万円)

不動産事業	当2Q累計期間	前2Q累計期間	前年同期比
売上高	36	72	50.0%
営業費用	19	37	51.4%
セグメント利益	17	35	49.5%

○ 本年2月に新規取得した千葉県柏市の土地の賃貸案件に加えて、賃貸物件仲介案件(11百万円)を成約いたしました

○前期末における神戸市の土地賃貸物件売却の影響により、不動産事業の売上高は36百万円(前年同期比50.0%減)、セグメント利益は17百万円(同49.5%減)となりました

第2四半期 連結貸借対照表

	前期末 (A)	当2Q末 (B)	差額 (B) - (A)	
現金及び預金	4,374	3,949	▲424	①納税、配当等や固定資産取得等による現金及び預金の減少
受取手形・売掛金	1,870	1,744	▲125	②取引高の減少による売掛債権の減少
その他流動資産	515	275	▲240	
有形固定資産	681	868	187	③連結子会社におけるスロットマシンの取得等による増加
無形固定資産	107	96	▲11	
投資その他資産	781	893	112	
資産合計	8,330	7,829	▲501	
支払手形・買掛金	1,132	925	▲206	④取引高の減少による仕入債務の減少
短期借入金（一年内返済予定の長期借入金を含む）	540	240	▲300	⑤借入金の返済による減少
未払法人税等	239	136	▲103	
その他流動負債	188	211	23	
長期借入金	760	640	▲120	⑤借入金の返済による減少
その他固定負債	33	33	-	
負債合計	2,893	2,186	▲707	
株主資本	5,387	5,504	117	⑥四半期純利益+312百万円、配当△195百万円
その他	49	138	89	⑦連結子会社への非支配株主による増資+112百万円
純資産合計	5,436	5,642	205	
負債・純資産合計	8,330	7,829	▲501	

第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期末	当第2四半期
税引前利益/税引前四半期利益	1,230	449
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,031	270
投資活動によるキャッシュ・フロー	79	▲201
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲251	▲503
現金及び現金同等物の期末残高	4,368	3,943

○当第2四半期末の現金及び現金同等物は固定資産取得や、借入金の返済により425百万円減少し、3,943百万円となりました

+ 税引前利益	449		
+ 減価償却費	58		
+ 売上債権の減少額	116		
+ その他（純額）	95		
		- 仕入債務の減少額	206
		- 法人税等の支払	242
営業活動によるキャッシュ・フロー	270		
		- 有形固定資産の取得による支出	232
		- 投資有価証券取得による支出	153
		- その他支出	9
+ 投資有価証券の売却及び償還による収入	190		
+ その他収入	3		
投資活動によるキャッシュ・フロー	201		
		- 借入金返済による支出	420
		- 配当金の支出	195
+ 非支配株主からの払込による収入	112		
財務活動によるキャッシュ・フロー	503		

2018年3月期 連結業績予想の修正に関して

	2018年3月期 2Q実績	前回発表通期 予想 (A) ※2017年 4月14日発表	進捗率	今回発表通期 予想 (A) ※2017年 10月13日発表	進捗率	増減額 (B-A)	増減率
売上高	6,878	15,600	44.1%	14,000	49.1%	△1,600	△10.2%
営業利益	430	1,100	39.1%	900	47.8%	△200	△18.2%
経常利益	449	1,100	40.8%	900	49.9%	△200	△18.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	312	720	43.3%	600	52.0%	△120	△16.6%

○ 売上高については、主力の広告事業において、パチンコホール企業の広告費抑制が急激に進んでおり、下期においてもこの傾向は継続されるものと見込まれます。当社グループでは、収益構造の転換を図るべく、従来の紙媒体広告からインターネット広告へのシフトを急ピッチで進めておりますが、当期においては、紙媒体広告の需要減少の影響を相殺するまでには至らないと見込まれることから、前回発表予想比で1,600百万円の減少を見込んでおります

○ 営業利益、及び経常利益については、インターネット広告の拡販が順調に推移しているものの、紙媒体広告の売上高の大幅な減少に伴うマージン減少の影響により、それぞれ従来予想比で200百万円減少となる見込みです

○ 親会社に帰属する当期純利益については、主として上記マージンの減少の影響により、従来予想比で120百万円減少となる見込みです

○ なお、当社では、配当の基本方針として、連結配当性向50%を目安としておりますが、**今回の業績予想の修正に伴う、配当予想の修正はありません**

当社運営サイト「パチ7」について



業界の活性化を目的に、ユーザーに有益な情報を早く、分かりやすく、面白く提供する事をコンセプトとしたパチンコ・パチスロポータルサイトです。

<http://pachiseven.jp>

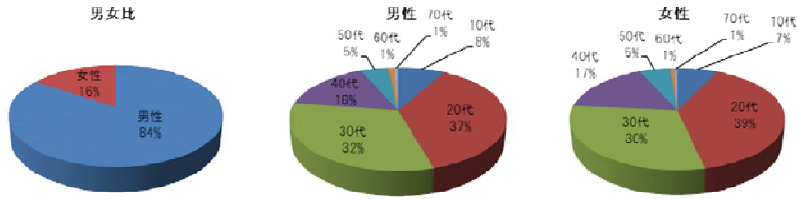


サイト開設
2014年8月7日
(パチ7の日)

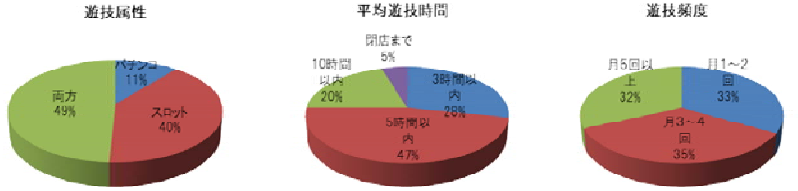
利用ユーザー数
1,134,000UU
※ユーザーローカル調べ

閲覧数
3,020,000PV/月
2017年1月 ※Googleアナリティクス調べ

掲載ホール数
4,257店舗
※2017年1月末時点



パチ7のユーザーは20代、30代の若年層が70%を占める。



ほぼ半数がP/S共に遊技し、67%が週に1回以上遊技するユーザーで構成。

パチンコ&パチスロユーザーを中心に
驚異的なスピードで多くの反響をいただいています!



Pachi Ad

パチンコホール向けDSP

「パチ7」のサイトに訪問したことがある**200万UUのデータを所有し**、行動履歴をビッグデータとして管理。200万人のパチンコユーザーに広告配信すると同時に、**パチ7ユーザー以外で同じ行動パターンのユーザーにも同時に配信**することでパチンコユーザーに広く配信可能なパチンコ業界に特化したWEB広告です。



月間100万UUオーバー!!

当社運用のユーザー特化型
パチンコポータルサイト

パチ7サイト
訪問者データを蓄積



**約200万UUの
パチンコユーザーデータを所有!**

200万人のパチ7訪問者が
様々なサイトを見ているときに広告配信



更に!

パチ7を見ていないが
パチ7訪問者と似た行動を取っているユーザーにも
同時配信!!

※見込パチンコユーザー

国内最大級!!月間在庫3,800億の広告枠に配信!

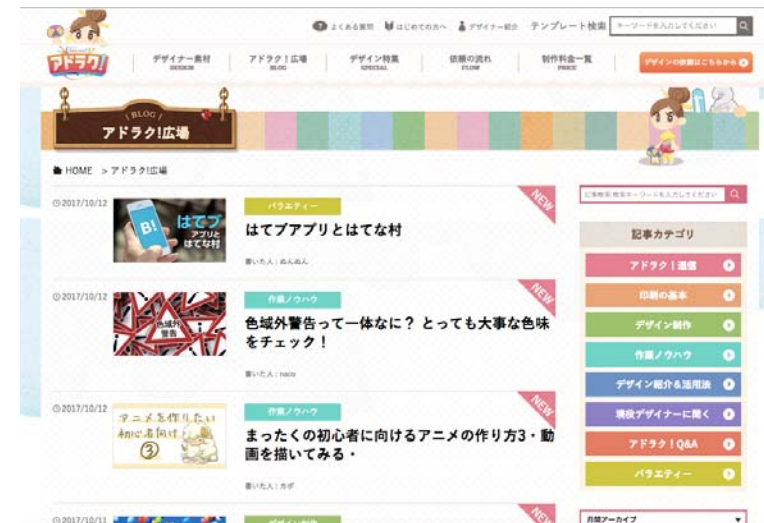
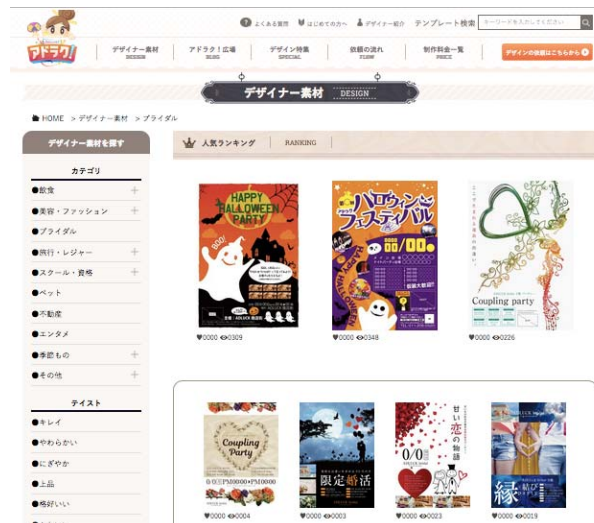
<p>ゲームメディア</p> 	<p>ポータルサイト</p> 	<p>女性メディア</p> 
<p>ニュースサイト</p> 	<p>エンタメメディア</p> 	<p>動画メディア</p> 
<p>スポーツメディア</p> 	<p>生活情報メディア</p> 	<p>その他メディア</p> 
<p>インフォード</p> 		

※配信面一例



個人事業主、デザイナーのニーズに総合的に対応可能なデザインポータルサイトです
最多保有数となる無料テンプレート素材と、デザインのノウハウを伝えるデザイナーブログをメインコンテンツに、オンライン上でオリジナルのデザイン制作・販売を行っています

▼アドラク！TOP



○月間PV数 120,000PV ○ユーザー数 40,000ユーザー

無料テンプレート1万点を実装

6月末のサイトプレオープン以来、月間PV数は平均12万PVを確保しております

今後、さらなるコンテンツ拡充及び各種機能追加しながら、販売の拡大を行っていきます

パイリン・フラミンゴカジノにおけるGDLH運営エリアの拡張投資について

連結子会社GDLHでは、フラミンゴカジノ内で同社が運営受託しているスロットマシンフロアにおいて、以下の目的のために、追加投資を行っています。

- 拡張投資により、集客力が高い同カジノにおける事業活動を5年延長可能にすることで、さらなる収益の安定化を図る
- カジノマネジメントシステム(CMS)の新規導入でこれまで出来なかったマーケティング施策を実施する

追加投資金額： 約1百万米ドル

追加投資台数： スロットマシン78ステーション、およびCMS の新規導入



9月末時点で一部のマシンを除き、概ねスロットマシンおよびCMSの設置・設定は完了しており、未設置分を含め10月下旬からは本格的に稼働、プロモーション施策の実施等を予定しております

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

•IR窓口 管理部 Tel.03-5358-3334